

山中氏にノーベル賞



発行所 秋田魁新報社
秋田市山王臨海町1番1号
〒010-8601
©秋田魁新報社 2012年



京都大の山中伸弥教授

医学 生理学賞

iPS細胞を開発

【ストックホルム共同】スウェーデンのカロリンスカ研究所は8日、2012年のノーベル医学生理学賞を、さまざまな細胞になる能力が

ある「人工多能性幹細胞(iPS細胞)」を開発した山中伸弥京都大教授(50)ら2氏に授与すると発表した。再生医療への利用が期待される日

本オリジナルの研究成果が高く評価された。

日本人のノーベル賞受賞は、10年化学賞の鈴木章・北海道

大名誉教授と根岸英一・米パデュー大特別教授以来2年ぶり

19人目。医学生理学賞は1987年の利根川進・米マサチュー

1セッツ工科大教授以来25年ぶり2人目となった。

山中教授は、マウスの皮膚細胞に4種類の遺伝子を組み込むと、万能細胞にな

ることを発見。iPS細胞と名付け、06年に発表した。07年には、人の細胞でも実現した。

受精卵を壊してつくる従来の胚性幹細胞(ES細胞)の倫理的問題が回避できるため、生命科学の一大潮流になった。

開発から6年のスピード受賞。

授賞式は12月10日にストックホルムで開かれ、賞金800万珞(約9400万円)が2氏に贈られる。

号外

購読申し込み

0120-13-1231

ホームページ

www.sakigake.jp

携帯サイト

m.sakigake.jp



詳しくは「秋田魁新報」朝刊、当社ホームページをご覧ください。